



第30回日本レーザー医学会総会

会長 :防衛医科大学校・医用工学 菊地真 教授

LASER TOKYO 2009として、第18回国際レーザー医学会大会(会長 大城 俊夫)、世界レーザー医学連合会(会長 クリシュナ・ラウー)、日本レーザー医学会(会長 菊地 真)を開催した。大会テーマをIntegrative Hybrid Medicine for the New Millennium – The Gateway to Personalized Healthcare Delivery –とし、後援は、日本医学会、厚生労働省、経済産業省で、参加者数は総計821名であった。日本レーザー医学会として、会長講演、特別講演、時節講演、大会特別企画、産官学ワークショップ、産官学ディベートセッション、教育講演、教育講座、ランチオンセミナー、市民公開講座、シンポジウム、スポンサーセッション、一般演題(62演題)の合計161演題で構成した。LASER TOKYO 2009としては、331演題であった。

同教室 石原美弥現教授
よりの文章(原文のまま)





大会設営にあたった
医用工学講座関係者



外国からの
招待講演者との交流